

# アフリカ・サブサハラ地域の 政治・経済状況

## WIPO Greenセッション テーマA

2022年 1月 21日

明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 笹岡 雄一

# アフリカもコロナで失速

- サブサハラ・アフリカの経済成長は、  
2019年3.1%(実績)、20年-1.7%(同)、21年**3.7%**(見込み)、  
22年3.8%(予想)、23年4.1%(同)  
⇒ 世界の21年の成長率は**5.9%** (IMF 2021)。
- 地下資源や食料価格は上昇して景気は回復基調だったが、コロナで成長は下降。ワクチン接種率（1回目）は**4.5%**。厳しいロックダウン措置を取った政府は感染率を抑えたが、経済的にはマイナス（ケニア、ウガンダ vs タンザニア）。

# 2021年の成長と貧困

- 主要国の成長率  
コートジボアール6.0%、ケニア5.6%、南ア5%、  
ナイジェリア2.6%、エチオピア2.0%、アンゴラ-0.7%
- インフレ率は**10%**を超えるので、貧困人口が増加する見通し。  
コロナ禍で毎年30百万人以上が1日1.9ドル以下の貧困層に  
転落している。
- 2019年、貧困者の比率が**70%**を超えているのがブルンジ、  
DRC（コンゴ民主共和国）、マダガスカル、南スーダン、**60%**  
を超えているのが中央アフリカ、ギニアビサウ、マラウイ、モ  
ザンビーク、ソマリア。

# 増加する対外債務

- 全体の**公的債務比率**（対GDP比）は、21年に**10－15%**上昇
- **G20**はコロナ禍を受けアフリカを含む76の最貧国に債務返済の1年間の猶予を決定（DSSI: 2000年4月）。
- **G7とIMF世界銀行等**は1997年の重債務貧困国(**HIPCs**)救済イニシアティブと2005年のマルチ債務救済イニシアティブ(**MDRI**)を実施し、37か国の1000億ドルの債務が解消された(アフリカでは14か国)。しかし、2000年代に終わったこの問題が再燃。

# 現在の債務規模

- 2018年アフリカの債務残高 **5830億**米ドル（世界銀行 2018）
  - 債務の対GDP比率の高い国 エリトリア、カーボベルデ、アンゴラ、モザンビーク、コンゴ共和国、ザンビア（中東のエジプト、モロッコも高い）  
cf. 途上国全体では7兆8000万ドル(世界銀行)
  - **債務急増の要因**
    - ①リーマンショック後の米国等の低金利政策で債務が増加、
    - ②インフラ建設ブームで借款プロジェクトが増加、
    - ③2014年からの原料価格の下落で輸出が減少、交換レートが下落して外貨建て債務の負担が膨張、
    - ④新型コロナの影響
- (Global News View, <https://globalnewsview.org> など)

# チャイナ・ファクター

- 中低所得国の中国からの**隠れた債務**（政府債務でないもの）が3850億ドルあることがウィリアムメリー大学エイドデータ研究所の発表で判明。中国からの債務がGDPの10%を超えている国は42か国あり、対中国債務が大きい国はラオス、コンゴ共、アンゴラ、赤道ギニア、ジブチ、モルディブなど（日本経済新聞 21年9月29日）。
- 中国は20年6月19日、中国・アフリカ緊急サミットで債務返済の猶予延長措置を言明（JETRO 6月24日）。
- アフリカ諸国の対外債務は36%がマルチ、32%がバイ（二国間政府、中国だけで20%）、32%が民間(Global News View)。

# 債務状況の悪化

- アフリカ諸国の債務状況は全体としては1980－90年代よりは安定しているが、国によっては悪化。アフリカ諸国の債務支払いの政府予算に占める割合は2017年に**12%**となり、2010年の6%から倍増した。
- 債務支払い増加の問題としては、①經常予算の不足、②債務を公的債務から民間債務に転換させることでの将来的な金利負担の増加、などが指摘されている。

# 債務問題に先取りした対応が必要

- ウィリアムメリー大学によると、中国の借款は計画・実施初期段階で停止した案件が増え、新規のコミットメントも縮小の気配が窺える(aiddata 2021.9.)。ただし、少なくとも18か国が中国と既往債務の返済について再交渉をしたと言われている (The Economic Times, Sep 23, 2021)。
- 債務問題の原因には、国際経済の動きやアフリカのガバナンスも関係している。さらに、問題の悪化に備えて国際社会は一致した対応が求められる。ニューマネーの循環がなければ2020年代に深刻な危機に見舞われる国もあるので、国際金融セクター全体で対応する必要がある。

# アフリカの経済見通し

- アフリカ開発銀行 (AfDB)によれば、アフリカ経済を活性化させる重要な開発戦略として、①デジタル・ムーンショット（デジタル技術を活用する全面的な取り組み）を通じての第4次産業革命の促進と雇用創出、②自由で公正な競争を推進し、生産効率を高めるための透明性の向上への投資が必要という(African Economic Outlook)。
- ②に関しては、アフリカ大陸自由貿易圏(AfCFTA)の促進、国境の通関手続きの軽減措置に加え、通信インフラのコストが鍵になるろう。
- グローバルな債務軽減制度の構築は、アフリカにおける各国の大胆なガバナンス制度の改革と共に、債務を持続可能な軌道に乗せ、成長を再び活性化させるのに役立つ (AfDB)。国内のガバナンスの構築においては、債務の持続性分析(DSA)能力、税収、透明性、情報公開などの優先順位が高いだろう。